



NEEDS (Northern European Emergency and Disaster Studies Conference) にて セッションを企画・開催しました (2022/11/1-3)

テーマ：NEEDS, 防災、災害科学

会場：コペンハーゲン大学

URL：<https://eventsignup.ku.dk/needs2022/conference>

2022年11月1～3日に、コペンハーゲン大学にて、NEEDS (Northern European Emergency and Disaster Studies Conference) 2022が“Global Disasters”というタイトルで開催されました。当研究所から、泉貴子教授（国際防災戦略研究分野）、ボレー・セバスチャン准教授（国際研究推進オフィス）、ヌイン・デビッド特任准教授（津波工学研究分野）が参加しました。

3日間で20のセッションが開催され、泉教授とボレー准教授は「The Progress of the Sendai Framework for Disaster Risk Reduction」と題したセッションを企画・開催し、セッション内で以下の5名が研究発表を行うとともに、活発な議論が行われました。

ボレー・セバスチャン 准教授

ヌイン・デビッド 特任准教授

Dr. Jonas Joerin (ETH Zurich)

Dr. Sanne Lehmann (University of Copenhagen)

泉貴子 教授

NEEDS2022は、主に社会科学の視点からみた「災害科学」「防災」に焦点をあてており、政策、法制度、気候変動、社会脆弱性、環境難民、ガバナンス、人権、公衆衛生、紛争など様々な社会課題と災害を結び付けて、多角的に「災害」について発表・議論する大変貴重な場となっていました。欧州での社会科学における「災害研究」の進歩や強みがうかがえました。



文責：泉貴子（国際防災戦略研究分野）